

**全国有力100社
アンケート調査**

トップは「横ばい」で73% 「やや弱気」が18%で続く

6月の鉄スクラップ相場動向

弊紙実施の100社アンケート「6月の相場動向」の結果がまとまった。全体(電炉、商社・シッパー、市中業者、全ての合計)の結果は、「横ばい」が73%で前月に続きトップとなった。次に多かったのは「やや弱気」の18%。2位ながらトップとは大きく差が開く結果となった。3番目は「やや強気」で9%。なお「強気」と「弱気」はともにゼロだった。

◆業種別～商社・シッパーで回答が比較的分散

業種別集計では、電炉メーカーは「横ばい」が77%と最も多く、以下は「やや強気」が15%、「やや弱気」が8%で続いた。商社・シッパーの回答は比較的分散傾向にあり、「横ばい」が54%、「やや強気」と「やや弱気」がそれぞれ23%ずつとなった。市中業者のトップは「横ばい」で76%。次に多かったのは「やや弱気」の19%。「やや強気」は5%となった。

◆地域別～中部は「横ばい」と「やや弱気」のみ

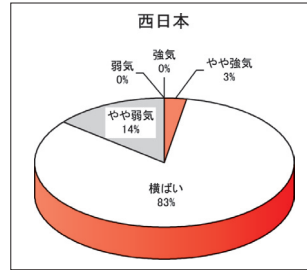
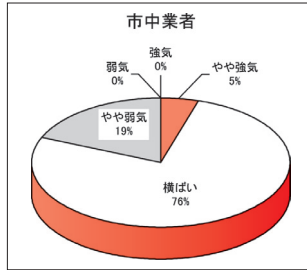
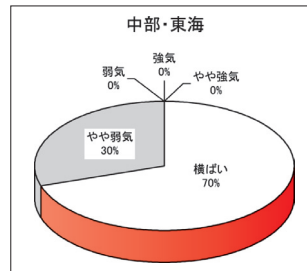
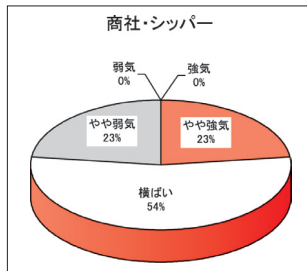
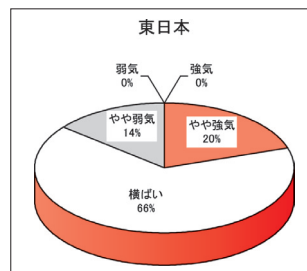
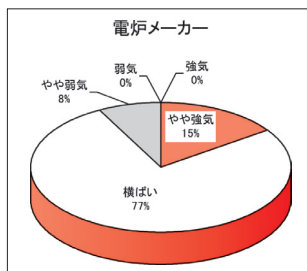
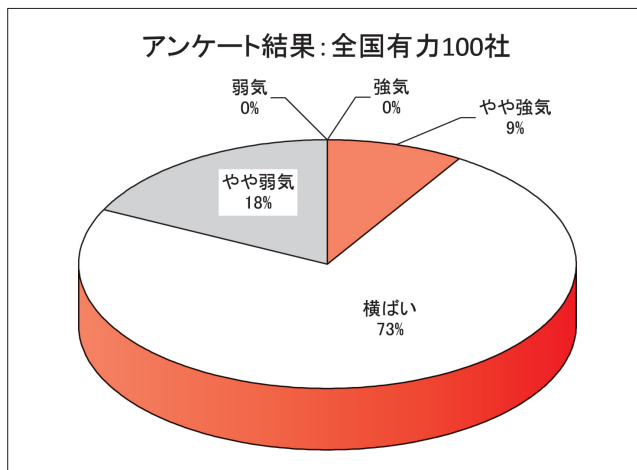
地域別では、いずれもトップは「横ばい」ながら、その他の回答の割合にはやや差異が表れた。

東日本のトップは「横ばい」で66%。「やや強気」は次に多く20%を占めた。「やや弱気」は14%だった。中部・東海のトップは「横ばい」の70%だった。2番目は「やや弱気」で30%と、この二つに回答が集中した。西日本は「横ばい」が83%で圧倒的に多かった。以下、「やや弱気」が14%、「やや強気」が3%と続いた。

<個別コメント(一部)>

▼ラマダン前にトルコが契約を決める必要がある。また韓国も割安な日本屑を継続的にオファーすることが予想され、関東湾岸の船積もある程度のボリュームが続くものと思われる。▼5月は国内市中発生スクラップが少ない印象があった。それに対し、船は旺盛。一部の国内電炉メーカーで入荷の悪さから値上げも考えられるが、あくまでも調整になるだろう。▼強要因：高炉メーカーの買い・東南アジア向け輸出価格高値継続。

弱要因：電炉メーカーの生産調整・鉄スクラップ発生増・韓国買気低迷。強・弱が伴って推移しており方向性(上下)が不透明である。



Innovation for further growth
製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

<http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪市淀川区三国本町1丁目17-19
TEL(06)6393-8401(代) FAX(06)6399-0313

野中工場 大阪市淀川区野中北通1-1
TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120
TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

【全国有力100社アンケート調査概要】

■回答方法:6月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答
■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社) ■調査期間:5月26日～6月4日 ■回答率:90.0%(東日本87.5%、中部・東海100.0%、西日本87.5%)